

Michi & 踏基
宙(そら)の
駄作っ句-3
たなか踏基編

道子の詠んだ句・M・踏基の詠んだ句・T

M アラツ嬉し 色ほくろかな私にも・
T 黒子もしみも 惚れて(彫れて)気付かず

M 道姫の 面にしみ入る色もどき・
T 面をよぎる禁制(金星)の痕

平成十六年六月八日十四時十一分、日本では百三〇年ぶり「金星太陽面通過」

M つかの間の 命ほぐさん川柳苦
虚しき命尊き命

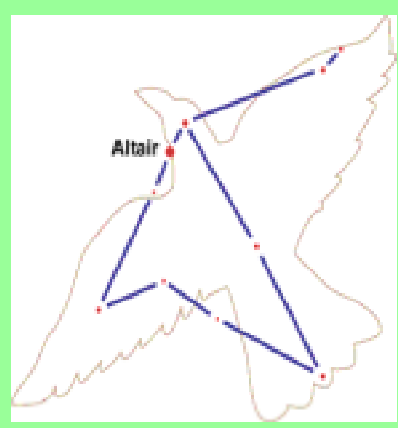
T 川柳に 短歌俳句と速射砲
アドリブ放つ道の裏技

M 見た観たぞ! 黒子うごめく舞台上
色も技あり変化の天地

T 多忙なる時ほど 何故か句にはまり
同窓会の準備忘れて

M 光るなも オジタリアンもキラキラ裸
T 混浴なれど湯気で見えざる

M 温泉の男湯 暖簾をくぐりそうになり・
T 暖簾に化けて待っていたのに
M 下界の地極楽浄土 求めんと湯に浮かびゆく
T ひしゃく七星
M ひしゃく星汲めば
T 下界の憂さ晴れて
M ライプの姫のご帰還あるか
T 一夜宿その気に
M なりて二夜宿場
T 帰りとうない玉の宿



T 玉の湯で 磨いてくれば一段と
M 熟女の肌もみどりこの肌

M つゆ宙やミクロの 棘に何故ほざく
T 蛙と晒う北極の星

T 北極星朋がいるよと 瞬きて傷を癒して
M 家にきやーると

M 火木土星? うやむや観測
T はつきりしたと解らんちん・
M 野辺山ならば見分けらるのに

M 望遠鏡千里眼かな 露天風呂姫
T 我眼(まなこ)星に交信
M 姫の裸身が並らぶ露台上に

M ハツブル鏡携え せしも小海線見つけ
T られまい!うやむや心

T 仰ぎ見れば 信濃の宙の天球に
M 小さく瞬く小犬座の星

M 未開封多忙さ 泣かん天体鏡逢
T 瀬したかる体撫で詫びて

T 望遠鏡開封 解いて眺むれば
M 逢瀬待ちわぶ星の数々

M 今着いた弾みし声の 愛娘連れて逃げてな
T ヒューストンいいな

T 愛娘連れて帰れや 異国の地 New Orleans の
M JAZZの聴こゆる

M 明日帰る120日 ぶり第二子の
T 上海帰リリル浮かぶ空

T 上海のリルの映画の 懐かしき代官坂の
M クリフサイドを

M 尾かわいや つぶら眼も声然り
T 餌食にや惜しい獅子膳宴

T 久々に餌にありつく 母獅子の足下に
M 子等は寄り添うことく

都都逸編

TMT 船大工している兄や風かある・
TMT 言われても名医己の脳切れず・
TMT 脳は切れぬが真心なれば
割つてみせたや夏西瓜

TMT 悠久の友集まりて花菖蒲 義兄弟おひけえなすって花札や・
TMT 花のカルタで立て膝すれば
奥の股間に黒蜥蜴

江戸川乱歩「黒蜥蜴」歴代黒蜥蜴役
京マチ子 美輪明宏 小川真由美
岩下志麻

M そつ言えば瓜売りの声ハンコック・
TMT 路地の西瓜とライプのピアノ
T うまい奴ほど音が良い・

Herbie Hancock "Watermelon Man",
Hancock=Jazz P. artist

M 超毒や!叙情詞はるか 雲海の高見見物 藪から棒に・

T 藪から棒に口説いて みたが何故かなびかめ幟旗

一踏基の掲示板(BS)お楽しみ下さい